

農山漁村地域整備計画評価調書

	計画の名称	第2次安全で安心して暮らせる漁村づくり計画
	計画策定主体	兵庫県
	対象市町村	神戸市、明石市、播磨町、姫路市、たつの市、赤穂市、豊岡市、香美町、新温泉町、洲本市、淡路市、南あわじ市（9市3町）
	計画期間	平成27年度～平成31年度（5年間）
	計画の目標	<p>兵庫県では、つくり育てる漁業や水産基盤の整備等による「豊かなひょうごの海の幸の安定供給」、並びに総合的な防災・減災対策を進めることによる「安全で安心して暮らせる災害に強い農山漁村づくり」について推進しております。</p> <p>本計画では「海岸保全基本計画」に基づき、集落等への海水の侵入を防止する海岸保全施設の整備を実施するとともに、漁業集落排水施設の整備などによる漁村の生活環境の改善と、地先海域の漁場整備による生産性の向上を図り、漁村の安全安心な生活を確保することで、水産業・漁村の多面的機能を発揮することを目標としています。</p>
計 画 の 概 要	計画指標	<p>① 浸水等の被害から防護された面積 239 ha 海岸保全施設の整備により、浸水等の被害から防護された面積を239 ha 確保する。</p> <p>② 海岸保全施設の長寿命化計画策定地区 30 地区 海岸保全施設の長寿命化計画策定により、予防保全の視点に立った計画的かつ効率的な維持管理を行う漁港海岸を30 地区確保する。</p> <p>③ 漁村生活者の利便性向上 3 集落 集落排水施設の改築により、3 集落の漁村生活者の利便性向上</p> <p>④ 集落排水施設の機能保全計画策定集落 5 集落 集落排水施設の機能保全計画策定により、予防保全の視点に立った計画的かつ効率的な維持管理を行う集落排水施設を5 集落確保する。</p> <p>⑤ 香住地区 漁港利用者数の増加 57,600 人/年（H19）→70,000 人/年（H28）、 出漁日数の増加（冬季（11月～3月））95 日（H19）→100 日（H28）</p> <p>⑥ 妻鹿地区 移動時間の削減 0.35 時間（H25）→0 時間（H29）</p> <p>⑦ 東浦地区 （漁場整備） 良好な漁場整備による対象漁業種類（底びき網、刺網、はえなわ、一本釣り、その他）の漁獲量の増加 生産増加期待量（H30 年）：H26 年漁獲量+23t</p> <p>⑧ 南あわじ市地区 （漁場整備） 良好な漁場整備による生産増加期待額 6,867 千円（H27～H29 3カ年計） の増加 イベント来場者数 3,000 人（H27～H29 3カ年計）</p> <p>⑨ 豊岡地区 （漁場整備） 良好な漁場整備による対象漁業種類（沿岸いか釣り、刺網、はえなわ、一本釣り）の漁獲量の増加 生産増加期待量（H29 年）：H26 年漁獲量+10t</p>

	<p>⑩家島地区 (漁場整備) 良好な漁場整備による対象漁業種類(磯端、はえなわ、一本釣り)の漁獲量の増加 生産増加期待量(H29年): H26年漁獲量+13t</p> <p>⑪南あわじ市第2地区 (漁場整備) 良好な漁場整備による対象漁業種類(一本釣り、刺網、はえなわ、その他)の漁獲量の増加 生産増加期待量(H31年): H29年漁獲量+7t</p> <p>⑫豊岡第2地区 (漁場整備) 良好な漁場整備による対象漁業種類(一本釣り、刺網、はえなわ、その他)の漁獲量の増加 生産増加期待量(H31年): H29年漁獲量+6t</p> <p>⑬家島第2地区 (漁場整備) 良好な漁場整備による対象漁業種類(磯端、はえなわ、一本釣り)の漁獲量の増加 生産増加期待量(H31年): H29年漁獲量+7t</p>
対象事業	海岸保全施設整備事業(高潮対策、侵食対策、海岸耐震対策、海岸堤防等老朽化対策、津波・高潮危機管理対策) 漁港漁村環境整備事業(漁村再生交付金事業、漁業集落環境整備事業)
全体事業費	4,373,993千円

	評価視点	評価項目	評価	評価の説明
評	目標の妥当性	関連する計画との整合性が図られているか	○	「ひょうご農林水産ビジョン2025」に合致した目標となっており、関連した計画との整合性が図られている。
		地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	津波、高潮等による浸水被害の防止や漁船の安全な陸揚げ、操業の効率化等地域の課題に適切に対応する目標となっている。
価	整備計画の効果・効率性	整備計画の目標と定量的指標の整合がとれているか	○	計画の目標に即した定量的指標となっており、整合がとれている。
		事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事業実施後に評価できる定量的な指標となっており、適切な指標となっている。
		構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	構成事業の実施により発現する効果を積み重ねたものとなっており、適切である。
整備計画の実現可能性	円滑な事業執行の環境が整っているか	○	関係市町、地元関係者等との事業調整ができており、円滑な事業執行の環境が整っている。	
	地元の機運が醸成されているか	○	強い要望に基づいて実施をするものであり、地元の機運は醸成されている。	
評価結果	事業実施妥当	[評価基準] ①評価全項目に○印がついている→「事業実施妥当」 ②評価に1項目でも×印がついている→「計画の見直し」		